平成 26 年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：平成 26 年 10 月 30 日（木）13：00～14：00

場所：松江しんじ湖温泉 ホテル一畑

出席者（敬称略）：長谷川昭、相川厚、芦田明、伊丹儀友、大田敏之、香美祥二、賀本敏行、宍戸清一郎、白髪宏司、杉谷篤、高橋昌里、力石辰也、服部元史、本田雅敬、柳原俊雄、渡井至彦、和田尚弘（以上 17 名、欠席 13 名のうち委任状 12 名）

第 36 回日本小児腎不全学会杉谷篤会長の挨拶につづき、以下のように各議題が討議された。

議題

(1) 会計報告・予算案

平成 25 年度の会計報告ならびに平成 26 年度の予算案が事務局より報告された。会計報告が適正なことが監事である伊丹儀友評議員によって報告され、平成 25 年度の会計報告と平成 26 年度の予算案が了承された。

(2) 会員動向

平成 26 年 3 月 31 日現在の会員数は、正会員 500 名、名誉会長 2 名、名誉会員 12 名であると事務局より報告された。会員数は少しずつ増加している。引き続き、筆頭演者は会員である必要性を周知徹底させることが確認された。

(3) 名誉会員の推薦

伊藤雄平先生、高橋公太先生、谷澤隆邦先生、野々村克也先生が名誉会員に推薦され、了承された。

(4) 監事の交代

相川厚先生が新監事に推薦され、了承された。

(5) 評議員の推薦

上村治先生（あいち小児保健医療総合センター）、森田研先生（北海道大学病院泌尿器科）が新評議員に推薦され、了承された。

(6) 次々期会長の選定

第 38 回会長（平成 28 年度）に渡井至彦先生（名古屋第二赤十字病院移植外科）が推薦され、了承された。

(7) 学会雑誌の件

1) 昨今の専門医制度の動向を踏まえて、従来の「二次抄録・査読なし」から「論文自主投稿・査読あり」へ編集方針を変更することが提案され、了承された。

2) 上記に伴い、投稿規定と COI に関する指針の整備、編集委員会（委員長：服部元史）と利益相反委員会（委員長：吉村了勇）の組織が提案され、了承された。

3) 論文の査読は、編集委員会、評議員、座長で行うことになった。

4) 論文投稿に際しては、同意書、誓約書、COI 報告書を提出することが確認された。

5) 編集事務局を医学図書出版内に設置することが提案され、了承された。

6) 投稿規定、COI に関する指針、同意書、誓約書、COI 報告書は、早急に学会 HP 上にアップして学会員へ周知し、今回の学会発表分から上記編集方針を導入することになった。

7) 投稿規定にあるように、筆頭著者と代表著者は看護・コーディネータ・他も含めて、本学会員であることが確認された。

(8) その他

事務局運営費を増額する必要性が指摘された。

年会費の増額についても議論された。

(9) 次期会長の挨拶

第 37 回会長の芦田明先生より準備状況が報告された。

平成 27 年 11 月 26 日（木）～11 月 27 日（金）、加賀・山代温泉ゆのくに天祥（石川県）

日本小児腎不全学会事務局

議事録作成 服部元史 印

議事録署名 杉谷篤 印

芦田明 印